

平成22年度（一般会計・特別会計・企業会計）

決算審査特別委員会

平成22年度決算について、9月12日から9月15日まで、担当課より説明を聞き集中的に審査しました。

委員長 関 忠夫

総務課

問 国調速報で、人口は前回より3000人近く減少したが、逆に世帯は2300増えている。この現象をどのように推定するか。

答 世帯を分けた核家族が多くなったこと、マンシヨンの1人暮らしが増えていることが要因。今回郵送できるようになり、マンシヨンの実体が明らかになった。

問 防災計画の見直しについて、柏崎原発を踏まえた計画を検討することはどうか。

答 新潟県も見直しを表明している。それを見て、町もあせらないで検討したい。

問 防災行政無線の性能、機能を教えて頂きたい。

答 9月3・4日の水害後

に浅貝地区で使用した。三国トンネル付近からも交信ができた。台数は30数台ある。

問 苗場・二居・三俣の生徒のバスダイヤ改正に努めてもらいたいがどうか。

答 話は聞いているので、バス会社と相談していきたい。

教育課

問 川上四郎作品デジタルデータ化の目的、意味は何か。

答 川上作品105点、良寛作品23点119点の原画が劣化しないよう川上家と協議してデジタル化した。データの所有権は川上家と湯沢町の双方にある。

問 総合型スポーツクラブ設立準備委員会の実態はどのようなものか。

答 22年7月に創設。24年2月にスポーツクラブの設立を目指している。組織のメン

問 川上作品自体は誰が持っているか。

答 川上家の委託を受け、湯沢町が預かっている作品は96点である。

問 民俗資料館の現状を見た上で、25年度に指定管理者とすることへの展望は。

答 方向は指定管理者となつている。それに向けバリアフリー化を図り、条件を整えたい。

健康福祉課

問 国保税の収納状況について、今年8月頃の現状は。

答 非常に厳しい状況。8月末現在で前年度から4%程度落ちている。

地域整備課

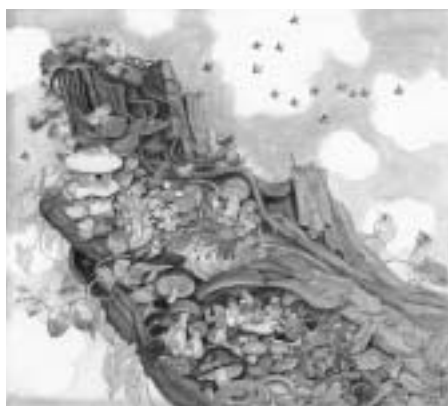
問 町道の草刈りでガードレールまで草が茂るところがある。草刈り範囲の基準は。

問 先の水害で浅貝川の応急措置は行ったが、本格的な復旧工事を要望したい。

答 町道以外の部分について、町内で出来るところは町内で行うようお願いしたい。

答 浅貝川の設計は湯沢砂防で行っている。要望は湯沢砂防に伝える。

▶川上四郎作品「きのこの村」



▲湯沢町歴史民俗資料館 雪国館